会場レイアウト



第1走者のみ、［フル］15m余分に走行する
［ハーフ］7.5m余分に走行する
［ファミリー］ 559m（トラックを約2周）走行してから外周コースへ

大会規定

1. 主催者は傷害保険に加入しますが、傷病や紛失その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
2. 健康診断を受ける等体調の管理はご自身で行い、体調には万全を期して臨んでください。なお、体調不良の方は無理な参加をしないようにお願いします。
3. 自己都合による申込後の人数変更や種目変更は致しません。
4. 参加代金の返金は致しません。ただし、地震・風水害・降雪・事件・事故等による中止の場合の参加代金の返金については主催者が判断し決定します。
5. 大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は主催者および企画運営者に属します。
6. お申込みいただいたお客様の個人情報は主催者及び企画運営者にて適切に管理し、お申込み内容の確認、連絡、ならびに資料や次回大会等サービス案内のために利用させていただきます。また、個人を特定できない統計情報を作成し、よりよいサービスを提供するため事業に活用することもあります。
7. 貴重品は各自の責任で保管してください。主催者は盗難・紛失の責任を負いません。
8. お車でお越しの際は、駐車違反等ないよう交通ルールの遵守をお願いいたします。
9. 走路及び競技場周辺は、一般の公園利用者の皆様もいらっしゃいますので、十分注意してください。主催者、大会運営者の指示、誘導には従っていただき競技にご参加ください。
10. 公共の公園を利用しますので、ごみ等は各自で責任を持って処分してください
11. 記録計測用のＩＣチップを紛失された場合、紛失費用をご負担いただきます。
12. 主催者ならびに大会運営者は、競技規定に則って開催します。



雨天の場合

● **雨天決行です（コースを一部変更して実施します）**

台風など荒天の場合は、当日AM7:00に大会事務局にて実施可否を協議、
中止・変更の場合は大会公式サイト/Facebookページに内容を掲載します。
大会公式サイト https://ashiyarelay.jp
Facebookページ https://www.facebook.com/ashiyarelay

大会サイト　Facebook

会場へのアクセス

●自家用車でのアクセス
▽大阪方面より　阪神高速湾岸線[西宮浜]ー(県道573)ー約5分 / 阪神高速神戸線[芦屋]ー(国道43)ー約15分
▽神戸方面より　阪神高速神戸線[深江浜]ー(国道43)ー約15分 / 阪神高速湾岸線[深江]ー(県道573)ー約5分

●電車~バスでのアクセス
阪急[芦屋川] / JR[芦屋] / 阪神[芦屋]各駅より阪急バスより
[101] [106]系統 ー (15~25分 / 250円)ー「芦屋市総合公園前」下車

駐車場

陸上競技場に隣接する大会本部に近い**「北駐車場」**、テント設置可能場所に近い**「潮芦屋西駐車場」**（いずれも最初30分無料、以降30分ごと100円)をご利用ください。

近年、「北駐車場」は混雑する傾向にあります。ご注意ください。

〈 寄付先からのメッセージ 〉

JAPAN FOR UNHCR
難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

国連の難民援助活動に協力したい。そのための公式支援窓口です。国連UNHCR協会

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約130か国で援助活動を行っています。この国連の難民支援活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。
皆様の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。

スケジュール

8:45　ファミリークォーターリレーマラソン　チーム受付開始（～9:20）——**全9周**
9:20　ファミリークォーターリレーマラソン　第1走者スタンバイ
9:30　ファミリークォーターリレーマラソン　スタート
各チームにて周回数をカウントしてください

10:00　フルリレーマラソン、ハーフリレーマラソン　チーム受付開始（～10:30）——**全38周/全19周**
10:50　フルリレーマラソン、ハーフリレーマラソン　第1走者スタンバイ
11:00　フルリレーマラソン、ハーフリレーマラソン　スタート

15:30　競技終了時間

受付について

- **代表者1名**が**受付**で「申込受理証【様式1】」を提出、ナンバーカード・タスキなど競技に必要なものを受け取ってください
- **出場選手は選手リスト【様式2】を提出してください**
- **ナンバーカードは、胴体前面の見えやすい位置に付属の安全ピンで取り付けてください**

フィニッシュ後について

- 最終走者フィニッシュ後に**代表者1名が「完走証」テントで完走証を受け取ってください**
- 入賞チーム(上位3位)が決まりしだい種目ごとに表彰を行います
- 表彰終了以降にフィニッシュするチームはながれ解散とします

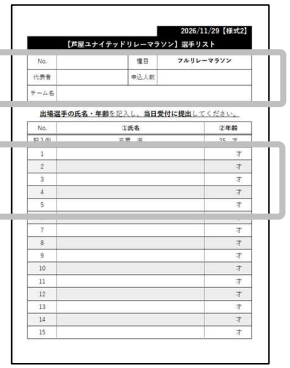
選手リスト（同封【様式2】）

出場する選手の情報を、申込人数分まで記載し、当日受付に提出してください。

必要記載項目
①出場選手氏名
②年齢（ファミリーのみ「中学生以上」「小学生」にチェックを入れる）

申込時の情報とエントリーNo.が記載されています

例）フルリレーマラソン　5人で申込の場合
・5人目まで記入してください


2026/11/29【様式2】
【芦屋ユナイテッドリレーマラソン】選手リスト
No.　種目　フルリレーマラソン
代表者　申込人数
チーム名
出場選手の氏名・年齢を記入し、当日受付に提出してください。
No.　①氏名　②年齢
1～15

注意

- 公園は通常どおり一般に開放されています。大会参加者以外の方へも迷惑のかからないように十分ご配慮ください。
- スタート前にコースの試走を行う場合は、周囲の安全に十分気を付けてください。
- 競技には小学生も参加します。コースの設計上狭い箇所がありますが安全優先でランニングを楽しみましょう。
- 具合の悪い場合、無理をして走ることは絶対に避けましょう。
- レジャーテントを持ち込む場合は、所定の位置(レイアウト図参照)に風で飛ぶことがないように設置してください。
- 会場内全域では、火気を使用してのバーベキューなどはできません。

競技趣旨

芦屋ユナイテッドリレーマラソンは、芦屋の豊かな自然のもとで、各種のレベルの選手が協力しあって所定の距離を走ることで、参加者全体でランニングの面白さを共有することを第1の目的とします。物理的な制約もあり、コースの一部に狭小なところもありますが、開催趣旨を各選手が理解し、事故のないようお互いに配慮してランニングを楽しむことを優先します。

競技規則

1．コース・種目

陸上競技場を起点とし、ミラタップパーク芦屋（芦屋市総合公園）を利用した１周1,110mの特設コースを周回する。

[フルリレーマラソン(以下フル) 42.195km] 全38周と第1走者のみスタート直後に陸上競技場での15mを走る。

[ハーフリレーマラソン(以下ハーフ) 21.0975km] 全19周と第1走者のみスタート直後に陸上競技場での7.5mを走る。

[ファミリークオーターリレーマラソン(以下ファミリー) 10.549km] 全9周と第1走者のみスタート直後に陸上競技場での559mを走る。

2．選手・走者

あらかじめ申し込みした人数で、各種目の条件を満たした者でチームを構成し当日受付にて選手一覧として提出して選手エントリーをする。事前申し込み人数に満たない場合も参加を認めるが、欠員選手分の参加費の返還は行わない。

※[ファミリー]は、欠員選手が出るとチーム要件を満たさない場合が生じるが、この場合は協議を経て競技委員長が対応を決定する。

タスキを装着してコースを走行する者を走者とする。競技中各チームコース上には走者1名のみ走行できる。ただしリレーゾーンは次の周回をする選手(次走者)が待機しタスキを受け取ることができる。

3．チーム

[フル] 中学生以上で自力で1周以上を走ることのできる4名～15名の選手で構成されるチーム。

[ハーフ] 中学生以上で自力で1周以上を走ることのできる3名～10名の選手で構成されるチーム。

[ファミリー] 小学生を1名以上含む自力で走ることのできる5選手までのチーム。ただし小学生は2周まで走ることができる。小学生も第1走者(1,669m走行)を務めることができる。小学生5選手だけで構成されるチームも認める。

4．ナンバーカード

各チームにはエントリー選手人数分のナンバーカードが発行される。選手は胴体前面に第三者から確実に見えるように競技終了時まで取り付ける。ナンバーカードの改造・書き込みは認めない。

5．タスキ

各チームにICチップ内蔵タスキ(以下タスキ) 1本が支給される。タスキは必ず走者が装着して走る。競技終了後、最終走者は速やかに係員にタスキを返却する。返却の確認が取れない場合は、チームに実費請求を行うことがある。

6．トラック/フィールド

陸上競技場トラック(クレー)へは走者と次走者のみ侵入ができる。走者以外の選手がやむなくトラックを横断する際は、走者を妨害することなく速やかに横断する。フィールド（ピッチ）への侵入は認めない。

7．リレー

陸上競技場メインストレート部分にリレーゾーンを設ける。各チームの走者交代はこのリレーゾーン内のみで、タスキを次走者に受け渡すことで認められる。各選手の周回数は事前に届け出る必要はない。また一度走行して退いた選手も再び走者として走行できる。

8．記録測定

フィニッシュライン延長上に時間測定ポイントを設ける。タスキに内蔵されたICチップが通過することで周回数、経過時間を測定する。

9．スタート

種目ごとに定めたスタート地点から一斉にスタートする。スタート地点には第1走者のみ侵入可能とする。 [ファミリー]→ [フル/ハーフ]の順でスタートを行う。スタート地点での整列順は指定しないが、[フル/ハーフ]は危険防止のため目標タイム上位者を前にするように運用する。

10．周回数

周回数は原則各チームにてカウントし、最終周回においては走者は自主的にフィニッシュする。周回数は、計測テントに定時に掲示する途中記録でも確認することができる。

11．フィニッシュ

計測ポイントの外側延長上にフィニッシュラインを設ける。この地点を所定の周回を終えたタスキが通過した時点が各チームのフィニッシュタイムとなる。

12．時間制限

スタートから4時間30分を競技終了時間とし計測を終了する。時間内でフィニッシュできないチームは記録なしとする。

13．リタイア

完走前に競技を中止する場合は、走者が近くの走路員にその旨を申し出る。リタイアしたチームは速やかにタスキを本部に返却する。

14．ペナルティ

コースを外れる、意図的に走路を妨害する、選手登録していない者が走行するなど不正が認められた場合、大会役員は当該走者に走行停止をさせ同チームを失格とする。

15．表彰

各種目上位3チームを表彰する。種目ごとに当該チームが決定次第速やかに本部付近にて表彰を行う。

16．その他

事故などで競技の継続が困難な事象が生じた場合は、全チームの走行を中断し、しかるべし措置の後復旧の確認ができた時点で競技を再開する。その他競技規定に定めない事項で重大な変更を余儀なくされる場合は、大会事務局の協議を経て実行委員会会長が対応を決定する。